

I 教育目標	
思いやりの心をもち、主体的に行動できる人間を育成する ○探究 自ら進んで学び、正しく判断できる人 ○敬愛 情操豊かで、認め合い、協力できる人 ○挑戦 心身ともに健康で、夢に向かってチャレンジできる人	

II 経営方針	
目指す学校像	「主体的に挑戦する意欲と互いを尊重する思いやりにあふれ、『ともに』自己実現を図り、『みんなかがやく』学校」
目指す生徒像	「主体的に考え挑戦し続ける強さと、他者を尊重する温かな思いやりをもち、未来を『ともに』切り拓き『かがやく』生徒」
目指す教師像	「生徒の成長を一番に考え、研究者として自己研鑽に励むとともに、チーム亀戸として組織運営に参画する教職員」 ○生徒一人ひとりがかがやく瞬間を見逃さず、情熱を持って支援する教師。 ○同僚や保護者、地域の方々とともに汗を流し、信頼関係を築く教師。 ○教育公務員として、服務規律を厳守し、職務を遂行する信頼される教師
経営理念	本校は開校以来80年を経過した江東区内でも歴史と伝統のある学校である。ここ数年、地域・保護者から良い評価をいただいている。入学式や卒業式には、地域の町会では国旗が掲げられ、一緒に祝ってくれる温かい地域でもある。 「失敗＝成長（せいちょう）」と読み替える姿勢を定着させ、正解を与えるのではなく生徒が動き出す力を支援する「伴走」の教育を推進する ○区教育委員会研究協力校として、実践的な校内研修を実施し、研究成果を日々の授業や行事に反映させ、全生徒がかがやく学びの質を追求する。 ○社会生活で必要な姿勢と実践力の育成 「感謝の気持ち」や「奉仕の心」を表現できる力を全教育活動の中で育む、また「挨拶をする」「時間を守る」など集団生活の基本的行動力を意図的・計画的・継続的に育成する。 ○確かな学力の定着と学びに向かう力の育成 生徒を意欲的に学習に取り組ませるためには教員の質の高い学習指導力が必要不可欠である。そのためには、以下の内容を重視した授業改善に取り組む。 ・「生徒が主役」の授業構成として、生徒自身が問いを見つけ、解決に向けて主体的に動く授業スタイルを確立します。 ・教科特質に応じた見方・考え方を日常生活とのかかわりと関連付けることで、教科に対する関心・興味を高める。 ・基礎的基本的な学習内容の確実な理解を進め、学習内容の一層の定着を図る。さらに理解に必要な読み解く力や自らの考え等を表現する力を育む。 ○思いやりや憧れなどの心の教育の重視と人間関係を構築する力の育成 学校行事等を活用し、主体的な活動からコミュニケーション力を育み、異年齢で活動する機会等を生かしリーダーシップを発揮する場を設定する。また、ボランティア活動を推奨し、思いやりの心を育む。また、道徳の時間の指導を充実させ、道徳的価値の理解から日常生活の中での道徳的実践力を高めさせる。 ○教員が正解を与えるのではなく、生徒自らが動き出す力を支援し、個々の個性が「かがやく」場を創出する。 ・生徒会・委員会活動、係活動・当番活動などの自治的な活動の充実を図るほか、行事では実行委員会を組織して企画・運営を担わせるなど、生徒が主体性を発揮し、活躍する場を設定する。 ○専門家や地域人材・地域資源等を活用した教育の推進 生き方や社会生活の基盤となる知識やスキルを身に付けることを目的に、専門家や地域人材・地域資源を活用した体験活動等を積極的に教育活動に取り入れる。また上記の活動を通して社会や自身の将来について考える機会とし、探究心を培う。

Ⅲ 経営目標		
重点領域 1		学校教育目標「探究」の実現
中期経営目標	○確かな学力の定着と学びに向かう力の育成 * 個別最適化された「探究」の学びの実践	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒自身が問いを見つけ、解決に向けて主体的に動く授業スタイルを確立する。 ●教科特有の良さや日常生活との関わりを理解するためにも、学習内容の一層の定着を図る。 ● Chromebook を活用し、主体的に情報を収集・発信・共有する力を日常的に養う。 	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	本校のスタイルの研究授業を全教員が実施する。	生徒アンケートの本校の授業スタイルに関する項目の肯定評価を90%以上にする。
2	自己評価・相互評価を取り入れた振り返りシートを導入し、学びの調整を支援する。	「学習方法を工夫している」に関する項目の肯定評価85%以上。
3	各種学力調査や定期考査等の結果分析を行い、成果や課題を明らかにして、全教員が教科指導に活用する。	保護者・生徒アンケートにおける「学習の基礎」に関する項目の肯定評価を90%以上にする。
4	読解力・表現力向上のための取組を計画的に年間15回以上実施する。	生徒に事後アンケートを実施し、肯定的な評価・回答を90%以上にする。

重点領域 2		学校教育目標「敬愛」の実現
中期経営目標	一人ひとりの権利を尊重し、ともに歩むための豊かな人間関係を構築する。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ●「感謝の気持ち」や「奉仕の心」を育む教育活動を展開するとともに「挨拶をする」「時間を守る」などの集団生活の基本的行動力を身に付ける。 ●異年齢で活動する機会などを生かし、リーダーシップを発揮する場を設定する。 ●道徳の時間の指導を充実させ、道徳的価値理解を深め、実践力を育成する。 	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	地域人材や専門家とともに学び、ボランティア活動等を通じて共生社会の実現に関わる力を育む。	ボランティア参加延べ人数を昨年度の1.3倍以上にする。
2	「考え、議論する道徳」を通じ、自分とは異なる価値観を敬い、理解しようとする態度を育てます。	保護者アンケートの「本校に通わせてよかった」の項目の肯定評価を95%にする。
3	「江東区こどもの権利に関する条例」を基盤に、全員が自分らしくかがやける環境を整える。	不登校の出現率を5%以下にする。

重点領域 3		学校教育目標「挑戦」の実現	
中期経営目標		○やりがいや達成感、一体感を感じ、団結力を育む教育の推進 ○専門家や地域人材・地域資源等を活用した教育の推進	
短期経営目標		●生徒会や行事を通じ、生徒自身が決定・運営する場を広げ、集団の中で個々の力がかがやく機会を創出する。 ●教員が用意した正解ではなく、生徒がともに悩み、試行錯誤するプロセスを価値付ける。 ●学校運営協議会・P T A・地域学校協働本部と連携し、保護者や地域の学校への支援力を生かした学校運営を行うことで、社会に開かれた教育課程を実現する。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）	
1	地域資源を生かした体験活動等を各学年、年間4回以上実施する。	体験後の生徒アンケートや感想において、肯定的な評価・回答を90%以上にする。	
2	学校行事・生徒会・学級活動等において、生徒の企画・運営を推奨し、小さな進歩であっても積極的に評価する。	生徒アンケートの「主体的な活動」に関する項目の肯定評価を90%以上にする。	
3	生徒会本部役員等の生徒と校長・関係教員との懇談会を月に1回実施し、学校生活の向上や改善に生かす。	意見や提案が学校生活に反映されたと感じる生徒を80%以上にする。	

重点領域 4		I C T化の推進・働き方改革	
中期経営目標		教職員の業務効率化を図り、生徒と向き合う時間を確保する。I C Tを効果的に活用し、生徒の学習環境の整備・教育実践の発信を組織的に行う。	
短期経営目標		●ペーパーレス化への取組を推進し、検討を加えながら改善を図る。 ●保護者・小学校・地域連携の充実のため学校ホームページを活用する。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）	
1	会議資料や保護者への配布物を中心にペーパーレス化を推進する。	年間の印刷総数を20%削減する。	
2	学校ホームページを組織的に運営し、授業日は毎日更新し、生徒・教職員の活躍の情報発信に努める。	保護者アンケートの「情報発信」についての項目の肯定評価を95%にする。	
3	I C Tスキルや学級経営についての「ミニ研修会」を月に1回実施し、教員の指導力を向上させる。	保護者アンケートの「教員の意欲」についての項目の肯定評価を90%にする。	